

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

		整理番号	1419
事業名	うずしおマラソン全国大会補助金		予算科目
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課	会計
電話	0799 - 37 - 3020		款
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	一般会計・1
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		教育費・10款
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり	項
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】	保健体育費・6項
	施策目標	仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする	目
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	全国各地からのマラソン愛好者	対象人数(人)
			3,000
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 全国各地からマラソン愛好者が南淡路に集い、ランナー相互の交流と淡路島のPRを目的とする。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 大会前日、大会気運を盛り上げるため、大会ゲストのトークショーや郷土芸能の発表等を実施する。大会当日は、にゅう麺や鯛汁などのもてなしや、タイルや素麺等のお土産を通して地元食文化や地場産業に触れていただく。コース種目は、ハーフ(約21km)、10km、5km、2kmで性別、年齢別に11部門に分け実施する。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 当時、旧南淡町では、町おこし事業の模索中であった。たまたま淡路陸上競技協会が当時行っていた長距離大会がなくなり、淡路陸上競技協会理事長並びに神戸新聞淡路総局長が協力してマラソン大会を淡路島で開催させたいという意向があり、事業をタイアップして展開させてきた。南あわじ市となってからも、市民の健康増進、市民と島外の参加者との交流、地場産業の活性化等を目的に、まちおこし事業として取り組んでいる。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ( )	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	大会参加人数			指標単位
					人
	指標説明 (指標算出方法等)	大会参加人数			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績値	1,743	1,810	2,144	
	達成度 (%)	58.1	60.3	71.5	-
目標値設定の考え方	参加人数が多いことは、事前準備、事業内容、大会運営が適切に行われた結果と考えられる。				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	大会参加人数			指標単位
					人
	指標説明 (指標算出方法等)	大会参加人数			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績値	1,743	1,810	2,144	
	達成度 (%)	58.1	60.3	71.5	-
目標値設定の考え方	参加人数が多いことは、ランナー相互の交流と淡路島のPRが図られていると考えられる。				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	13,085	13,918	14,020	14,020
	前夜祭経費	236	201	210	210
	大会経費	11,755	12,811	12,900	12,900
	事務費	1,094	906	910	910
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他	8,285	9,118	9,220	9,220
	一般財源[A]	4,800	4,800	4,800	4,800
	人件費(正規職員)[B] (千円)	6,140	5,980	6,020	6,020
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	100	100	100	100
	事業量2(事業に要した人数)	2	2	2	2
年間経費([A]+[B])	10,940	10,780	10,820	10,820	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	3.6	3.6	3.6	3.6	
受益者人数(3,000)1人当り経費(千円)	3.6	3.6	3.6	3.6	
経費に関する補足説明					

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	58.1	60.3	71.5	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 年々参加者が減少の傾向にあったが、本年度は約340名の参加者の増加があった。昨年からの提案事項等がある程度反映され、また実行委員も自主的なポスターや募集要項等を活用したPR活動の成果の現れと思う。しかし一過性の参加者増とならないように、参加意欲をかきたてるような魅力について、今後協議が必要と考える。また運営面では南あわじ市全体として取り組めつつあるが、まだ市民には旧町事業の意識がまだまだあるため継続して協力体制、PR等の活動をしていく必要がある。マラソンコースとしての魅力も浸透しつつある。					自己評価 (5点評価) <b>3</b>
有効性	成果指標目標達成度	%	58.1	60.3	71.5	-
	成果向上率	%	-	3.8	18.5	-
	(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 健康づくり、市民と島内外との交流、全国に南あわじ市をPR、地元産業の活性化等の有効性はある。しかし特定地域に偏った事業展開であると見られがちであるため、創造的、発展的な取り組みをし、今後とも南あわじ市としての取り組みによる事業の有効活用を図りたい。					自己評価 (5点評価) <b>3</b>
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	6.3	6.0	5.0	-
	効率性増減率	%	-	5.1	15.3	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 市内の同時期に開催される長距離走大会の整理が進み、参加者が参加しやすいスポーツ環境にはなった。しかし経費の節約がまだ可能と思われるので継続して取り組む。					自己評価 (5点評価) <b>3</b>
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 近年、健康づくりとしてマラソンやウォーキング等が人気を得ている。また淡路島や南あわじ市の魅力を発信できる機会でもあるので、観光産業の振興としても必要性はあると感じる。					自己評価 (5点評価) <b>4</b>
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 合併4年目をむかえ徐々に南あわじ市としての取組姿勢ができてきた。同時期に市内で開催されていた類似のスポーツ大会を整理することにより、より市民が参画しやすく、また参加しやすい事業になってきた。より実行委員の自発的な活動になれるよう今後検討する。					<p>評価グラフ</p>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>大会経費の支出項目を精査することにより経費を削減する。</p> <p>また、特定地域に偏らず、市民参画できる実行委員会の組織づくりや市イベントとしての取り組みが必要である。</p>	<p>参加費を増額させるか、経費をかけずに行える事業規模にするかを検討する。</p>
(現状維持以外の場合) 具体的な改善方法)	<p>マラソンやランニング愛好者のみならず、本イベントに魅力を感じて参加いただける方々に対して南あわじ市として、より一層、創造的で発展的な取り組みをしていく必要がある。それにより市民の健康増進、市民と参加者との交流、南あわじ市の活性化等を図ることができる。「おもてなし」の気持ちを大切にし、参加者に何か一つでも満足していただけるイベントにしなければならないが、経費面については支出項目を精査し、収入では協賛金(協賛物品)の依頼について、実行委員会を中心に常に真摯に取り組む姿勢が大会の盛会に繋がると考える。</p>	同左
改善によって期待される効果	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>より市民に理解が得られ、参画できる大会になり、南あわじ市色が出る大会になると思う。</p>	同左
	<p>コスト面</p> <p>経費の抑制により、市負担額の減少。</p>	同左
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>プラス面：事業に係る経費の削減。            マイナス面：地元の経済効果が下がる。</p>	